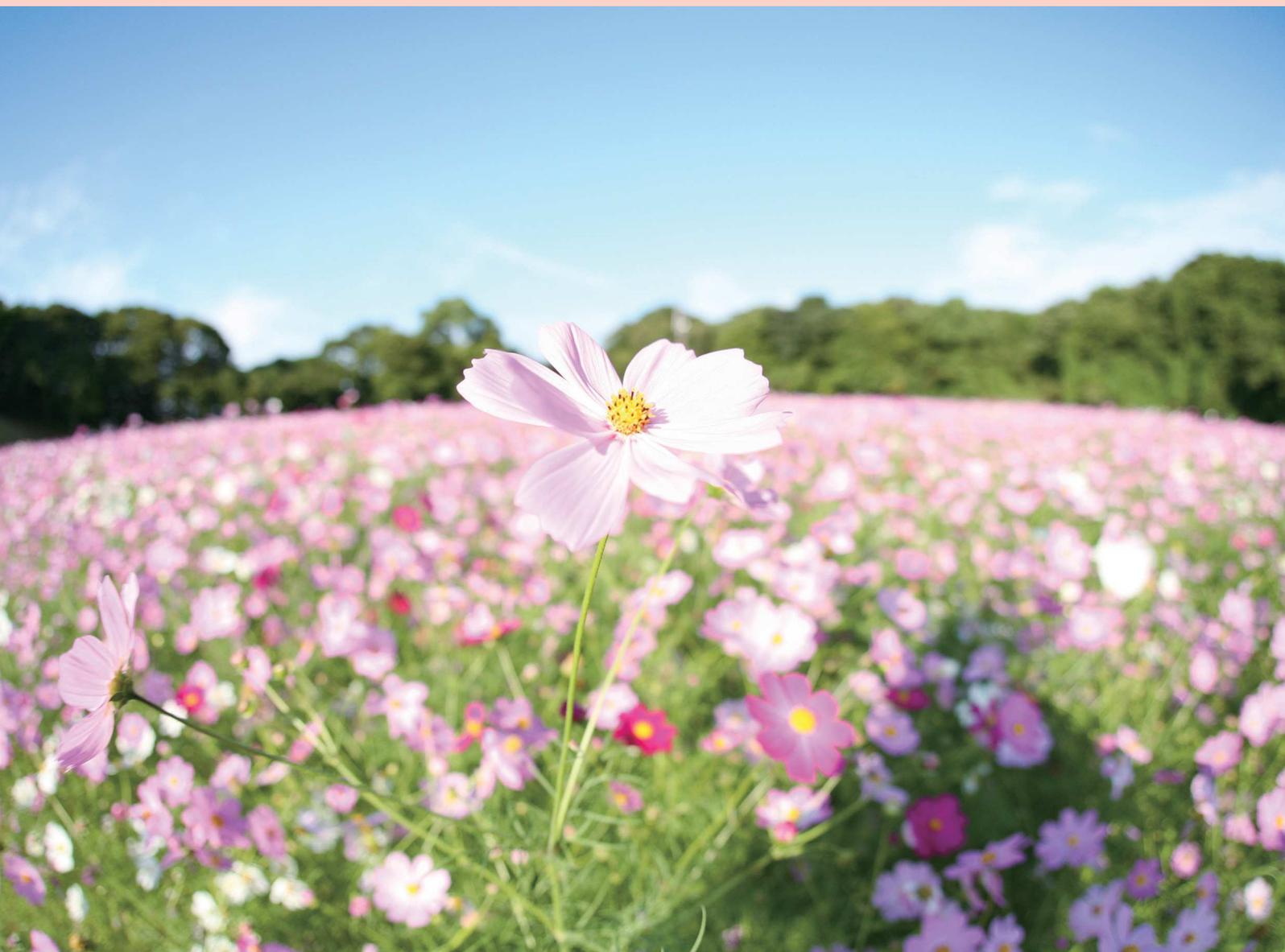




きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper vol.18-03 2018 october



「展海峰のコスモス」 撮影：水田 孝 氏

INDEX

- 2 ● ごあいさつ 副院長 井原 司
- 3 ● 診療部長就任のごあいさつ
 - 健康教室のお知らせ (11月～12月) と報告 (7～9月)
- 4 ● 診療活動の現況 一歯科口腔外科一
- 6 ● 市民公開講座報告
 - 医療を支える人々
- 7 ● 医療連携室より
 - シリーズ 「災害から命を守るために 基礎編」
 - 編集後記
- 8 ● 外来診療担当表



季節の変わり目は 基本的な感染症対策が大切

副院長 井原 司

今年はいくつもの台風が通り過ぎ、豪雨や洪水にもみまわれました。

夏の酷暑はかつて経験したことのない命に関わるほどの暑さで、1日中冷房の中で過ごした方も多かったと思います。

熱中症や慢性疲労も多く見られました。過ごしやすい季節となり夏の疲労がようやく回復してこられた事と思います。

これから秋冬を迎えますが、季節の変わり目や季節によって流行したり、起こりやすい疾患があります。喘息、感冒などの呼吸器疾患や脳梗塞、心筋梗塞などの心血管疾患、ノロウイル

ス、インフルエンザなどのウイルス感染症などが秋冬に気をつけるべき疾患です。

健康管理の基本、病気の予防はバランスの良い食事や運動の習慣、質の良い睡眠（休息）、基本的な感染症対策が大切とされています。

体調をしっかりと管理し、今年残り3ヶ月しっかり締めくくっていきましょう。

共済病院においては近隣の医療施設かかりつけ医と連携し、疾患の予防や治療を行い、地域の皆様の健康維持・増進に努めます。

体調が悪いとき、体の異常を感じた時は早期に医療機関を受診しましょう。

医療安全研修会のご案内

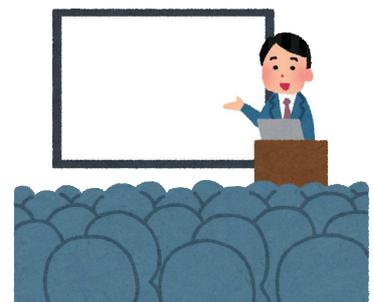
日時：平成30年10月29日（月）
17:30～19:00

場所：佐世保共済病院8階大講堂

講師：Team STEPPS

近畿大学医学部附属病院

安全管理部 教授 辰巳 陽一



麻酔科の深野と申します

診療部長 深野 拓

この度、平成30年7月1日付で診療部長を拝命いたしました麻酔科の深野と申します。よろしく申し上げます。麻酔科医のため当院以外の先生方にはあまり馴染みのない医者と思います。

私は平成5年9月にメスの使えない麻酔科医として佐世保共済病院へ赴任いたしました。以来各科の先生方や看護師さん、医療スタッフの方々にお世話になりながら手術麻酔業務や集中治療、ペインクリニック、緩和ケアなどに携わってまいりました。

当院は新研修医制度の煽りを受けて、未だに医師の充足が十分でない状態が続いております。先生方にもご迷惑をおかけしている状態が続いておりますが、職員一同これまで以上に病診連携を密にし

て、県北の医療の一翼を担えるよう努めていく所存でおります。麻酔科も先生方のお手伝いが出来ますよう頑張っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



- 出身地 佐世保市
- 出身大学・卒年 長崎大学・昭和61年
- 主な職歴
昭和62年 長崎大学 麻酔科入局
昭和63年 佐世保総合病院
平成2年 県西部浜松医療センター
平成3年 長崎大学麻酔科
平成5年 佐世保共済病院
- 専門領域 麻酔一般
- 所属学会 日本麻酔科学会、日本集中治療学会、日本緩和医療学会

健康教室のお知らせ（11～12月）と報告（7～9月）

健康教室「学ぼう! 身近な医学」

臨床研究室 石戸 久美子

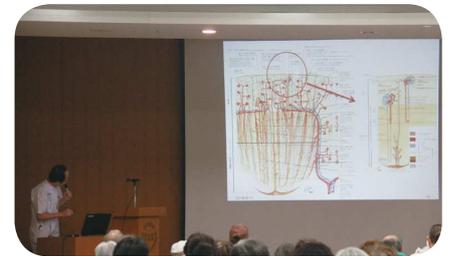
7月10日、9月11日、健康教室を開催しました。

7月は「食べて元気になろう」をテーマに「腸からヘルシーエイジング：腸がよろこぶ食べものとは～最新の研究結果より～」を抗加齢医学会指導士の山崎純子外来師長から「高齢者の栄養管理」を、管理栄養士の内橋斐都美栄養科長から講話を頂き、78名の方が参加され皆さん熱心にメモを取っておられました。

9月は腎臓内科の福成先生より「CKD（慢性腎臓病）についての身近な話題」、安岡管理栄養士より「慢性腎臓病予防のための食生活」をテーマに講話を頂きました。まだまだ残暑の続く中、93名の方にお越し頂き、地域の皆様の健康への意識の高さを感じました。たくさんの質問も頂き、充実した

時間だったと思います。また、この時はテレビ佐世保から取材に來られ、翌日教室の様子が放送されました。

今後も皆様の健康保持増進のお役に立てるように豊富なラインナップを取り揃えて、ご来場をお待ちしております。予約は不要です。お散歩の途中や、四ヶ町でのお買い物のついでにお気軽にお立ち寄り下さい。



講和中の福成先生



取材中の福成先生

場所：佐世保共済病院 8階大講堂 時間：14時から

【今後の予定（講師）】

- 11月13日：外科 嬉野医師
- 12月11日：感染管理室 碓認定看護師

顎関節症かも？

こんな症状ありませんか？



— 歯科口腔外科 —

歯科口腔外科 医員 木附 智子
監修 部長 窪田 泰孝



● 顎関節症とは

顎関節症という言葉は多く聞かれると思いますが、いったいどういう症状かご存知でしょうか。顎関節症の診断基準として、『顎関節や咀嚼筋などの疼痛、関節雑音、開口障害ないし顎運動異常を主要症候とする』とあります。つまり

- あごが痛い
- あごを動かすと音がする
- 口があかない

の3つが主な症状になります。顎関節症の原因は不明なことが多く、日常生活における行動や癖やかみ合わせ、またはストレスや周囲の環境などの複数の要因が関与しているといわれています。たとえば、日中の姿勢、歯ぎしり、かみしめ、楽器演奏、スポーツなどもその要因の一つです。

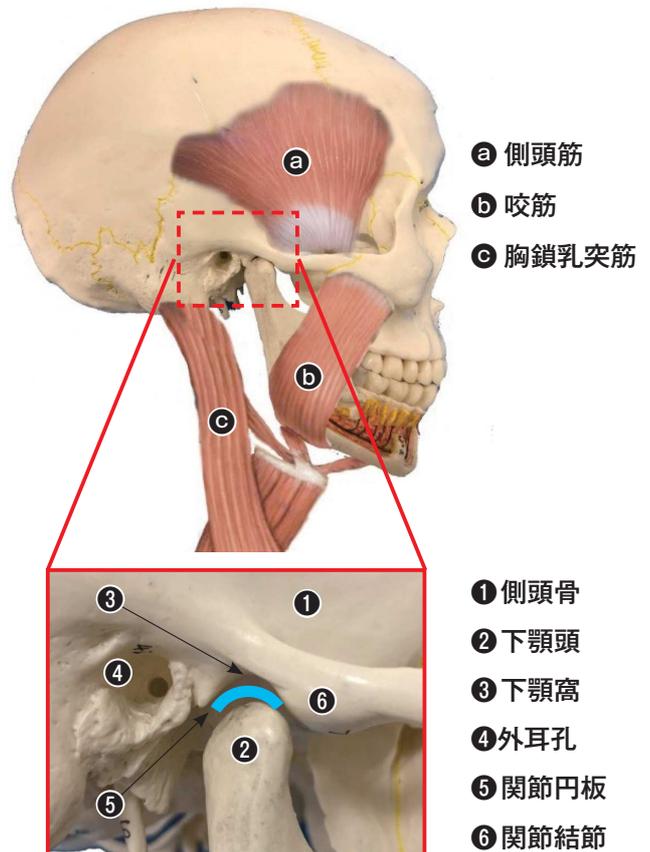
● 顎関節症の罹患状態

平成 28 年の厚生労働省歯科疾患実態調査によれば、「口を大きく開け閉めしたとき、あごの音がありますか」に「はい」と回答した対象者は約 15%で、特に 20～40 代の女性では 3 割近い人が顎関節の雑音を自覚しています。また、「口を大きく開け閉めしたとき、あごの痛みがありますか」

に「はい」と回答した対象者は約 3.3%で、特に 20～40 代の女性では 1 割近い人が痛みを自覚しています。全体的に女性の方が顎関節症の症状を自覚する割合が高い傾向にあります。

● 顎関節の構造と機能

顎関節は下顎骨にある下顎頭と側頭骨にある下顎窩と前にある関節結節で顎関節を構成します。



- a 側頭筋
- b 咬筋
- c 胸鎖乳突筋

- 1 側頭骨
- 2 下顎頭
- 3 下顎窩
- 4 外耳孔
- 5 関節円板
- 6 関節結節

2つの骨の間にはクッションの働きをする関節円板が存在しています。他の関節にはない顎関節の特徴として、毎回口を開くたびに、はまり込んでいる下顎頭が関節円板とともに下顎窩から外れる動きがあります。また、顎関節の周囲は靭帯・関節包といった結合組織にくるまれており、さらにその周囲には下顎を動かす咀嚼筋が付着しています。

●顎関節症の分類

顎関節症は日本顎関節学会による顎関節症の病態分類で以下のように分類されています。

●顎関節症Ⅰ型

咀嚼筋障害（顎を動かす筋肉の疼痛・それによる機能障害）

●顎関節症Ⅱ型

顎関節痛障害（靭帯・関節包の炎症や損傷による疼痛・機能障害）

●顎関節症Ⅲ型

関節円板障害（関節円板にずれが生じるもの）

a：復位を伴う関節円板転位

b：復位を伴わない関節円板転位

最も発生頻度が高く、関節内にある関節円板が前方にずれることで起きる「カクンカクン」という音が出る状態（a）、あるいはずれがもっと大きくなることで大きな口が開けられなくなる状態（b）

●顎関節症Ⅳ型

変形性関節症（骨吸収・軟骨の破壊を伴い、開閉口時にじりじりとした音を伴う）

●顎関節症Ⅴ型

I～IV型に該当しないもの

●治療方針

顎関節症に対する治療は痛みを減少させ、機能などを回復させることであり、日常生活に困らないほどに顎関節症の症状を回復させることを目

標にします。主な治療方法として、生活指導・理学療法・薬物療法・アプライアンス療法があります。

●生活指導

- ・硬固物の咀嚼、あるいは楽器演奏、スポーツなどによるくいしばりの改善指導
- ・姿勢や日中の歯列接触癖といった悪習癖の改善

●理学療法

- ・咀嚼筋マッサージやホットパックなどによる温罨法
- ・開口ストレッチ、徒手的顎関節授動術といった運動療法

●薬物療法

- ・顎関節や咀嚼筋の痛みに対しては消炎鎮痛剤の内服
- ・筋弛緩薬や低用量の抗うつ薬、抗不安薬などの中枢性筋弛緩薬

●アプライアンス療法

- ・マウスピースの使用。左右均等に咬合させることで咀嚼筋の緊張緩和および顎関節部への負荷を軽減

●最後に

顎関節症は年代や性別を問わず、多くの人が発症する病気です。おもな症状は顎関節や咀嚼筋の痛み、開口障害、開閉口時の音ですが、これらの症状を示す疾患は顎関節症だけではありません。先天的な異常や発育異常、外傷、感染症、腫瘍などさまざまな疾患によってもこれらの症状は出現します。顎関節症には、あごの動きの検査やレントゲン・MRI検査など必要に応じた検査が必要です。気になる症状があれば、自己判断せず是非医療機関での相談をお勧めします。

超高齢化社会における呼吸器疾患対策

院長 井口 東郎

超高齢化社会の訪れと共に疾病構造にも変化がみられ、これまで死因として最も多かった生活習慣病（がん、心筋梗塞、脳卒中）に代わり肺炎がトップになることが予測されています。そこで、今回の市民公開講座では「超高齢化社会における呼吸器疾患対策」と題して、肺がん、肺炎、それに禁煙



原田 英治 助教

について3名の講師の方々にご講演をお願い致しました。肺がんについては治療法の開発が日進月歩で、標準治療が1年に度々替わることも稀ではなく、生存期間の延長に繋がっているようです。また、肺炎については肺炎球菌ワクチンも登場しており、予防も可能な時代となっていますので、皆さんに関心を持っていただくことが肝要と思われま。今回の市民公開講座には91名の方にご参加いただきましたようですが、講師の方々からは市民向けに分かり易く解説していただきましたので、ご参加いただいた皆様には概ね好評だったようです。ただ、ほとんどの参加者



高山浩一教授（左）、讃岐理々医長（右）が既に禁煙に取り組んでおられたため、「禁煙についての話しは要らなかったのでは？」といったご意見もいただきました。いずれにしましても、今後の超高齢化社会では呼吸器疾患対策が重要ですので、今回の市民公開講座で学んでいただいたことを実践に繋げていただければ、企画した者として幸甚であります。

医療を支える人々

栄養科です

栄養科長 内橋斐都美

栄養科は管理栄養士5名、調理師17名、事務員1名で構成されており、多くの病院が給食・栄養管理業務を委託化している中、当院は現在も直営で管理しています。今回は私たちの業務内容についてご紹介していきます。

〔病院食の提供〕

一般食、治療食（腎臓病・糖尿病・心臓病など）に食事の形態を併せますと1食に50～100種類の食事を提供しており、アレルギー対応や患者さんの嗜好を考慮するよう努めています。また化学療法などで食欲不振の方や出産後の食事にも力を入れています。

〔入院患者さんの栄養管理計画の実施〕

病棟担当栄養士がベッドサイドに訪問して、入院患者さん一人ひとりに対して栄養状態を評価し、それぞれに適した食事を提供することを目的とし、医師、看護師、管理栄養士が協働して栄養アセスメントを行い、栄養管理を計画し栄養ケアを行っています。

〔栄養指導の実施〕

入院・外来患者さんを対象に生活習慣病をはじめとし、小児アレルギー疾患、がん、嚥下障害、低栄養に対する栄養指導も行っています。

〔他職種連携業務〕

NST（栄養サポートチーム）や褥瘡チームに参画し、管理栄養士の立場から適切な栄養管理の提言を行い、チーム医療に貢献しています。今後も調理師と協力しながら、チーム医療を支える一員として取り組んでいきたいと思ひます。



内橋栄養科長（前列右から2番目）



医療法人 増田整形外科

〒857-0042 佐世保市高砂町4番21号 TEL 0956-24-0056

理事長 増田 賢一 先生

当院は増田整形外科として平成8年より開業をしており、今年で25年を迎えています。平成25年より父の後を継ぎ県北の地域医療の一助になればと頑張ってきました。今年当院は大きな転機を迎えています。

平成25年まで長崎労災病院で関節外科部長をされていた土井口祐一先生に入職していただく事となりました。経験豊富な先生には当院の3代目の医院長として就任していただいております。

私もこれまで以上に精進しますので、2人体制となりより一層皆様のお役に立てる様に増田整形外科

はパワーアップできるものと思います。

当院では昭和50年代（先代が俵町浜野病院に在籍していた時代）から人工関節手術に携わっており、現在では膝関節を中心に年間100例程度の人工関節手術や骨切り術を行っています。術後20～30年を経過した症例の再置換術も年に数例ですが行なっております。2人体制となりましたので、変形や拘縮の強い難症例などにもこれまで以上に対応ができるようになっております。土井口先生は股関節の分野では特に経験豊富ですので、人工股関節の難症例や骨切り術の適応となる様な症例がありましたら当院までご紹介ください。

また外来診療では待ち時間の解消のために、3月よりオンラインでの予約システムを導入しております。外来診察は順番制、リハビリ予約は時間制で運営しております。外来診療は当院の受診歴が無くても予約が可能です。理学療法士も10人体制で頑張っておりますので、リハビリが必要な患者様などございましたら是非ご紹介下さい。

佐世保共済病院の先生方には整形外科の先生方を始め、症例の相談や合併症の起こった際の対応など格別なご助力を頂いており大変感謝しております。今後もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



土井口先生（前列左）・増田先生（前列右）

シリーズ「災害から命を守るために 基礎編」

災害から命を守るために

何が危機なのか！何が危険なのか！危機意識は個人によって大きな差があります。

人は、自然災害の「破壊力」の前では「無力」です。災害から命を守るには、自宅や職場などの安全な場所で待機するか避難所等へ避難など個人が的確な判断力を身につける以外に術はありません。自然災害は、地域環境、気象状況、潮汐など各種要因が複合して発生するため、災害対応の適切な答え

を導き出せないのが現実です。危険排除、被害軽減は、防災対策担当者や消防職員などが実施する防災研修や訓練に参加して基本的な知識と臨機応変な行動を積極的に身につけることが重要になります。

医療・福祉関係の施設では自らの命を守りながら、入院患者、施設入居者、外来患者など災害弱者と呼ばれる人達の安全を確保する責任があります。管理者自らが率先して地域や職場環境の実情を踏

救急・防災専門役 村岡 昭治

まえた各種危険要因を抽出し、具体的に「道路冠水や1階が浸水したら」「公共交通機関や車が動けなくなったら」「停電や断水したら」「自宅に帰れなくなったら」など多種多様な災害項目を職員で話し合い、災害に備えた物品の準備、避難方法、避難経路、連絡体制の確認を行い、危機意識を共有することから始めて下さい。



編集後記

佐世保は青い空、広がる海、緑の山々に恵まれた穏やかで美しい街です。私達を癒し元気をくれる自然ですが時に脅威となり、近年想像できないような災害を各地で引き起こしています。今号では防災について取り上げています。いつでもどこで起きるかわからない災害に対応できるよう身近なところからできる備えなどについて知っておきたいと思っております。

編集委員 谷口 友佳子

外来診療担当表

平成30年10月1日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
腎臓内科	部長	福成 健一	●						●				腎臓疾患・人工腎臓
	医長	金谷 晶子			●			●					腎臓疾患
	医員	山下 由希					●				●		腎臓疾患
	〃	橋本 康平	●						●				腎臓疾患
循環器内科	部長	金谷 誠司					●		●				循環器疾患
	医員	中尾 英智	●						●				循環器疾患
	非常勤医	田淵 くらみ									●		循環器疾患
	〃	横山 晋二					●						循環器疾患
	〃	熊埜 御堂淳									●		循環器疾患
呼吸器内科	非常勤医	真島 涼平	●		●								循環器疾患
呼吸器内科	非常勤医	古鉄 泰彬					●						呼吸器疾患
糖尿病内科	非常勤医	牟田 芳美						■	■				■：第2・4週のみ診察を行います
消化器内科	部長	河野 健次			●			●					肝臓疾患、糖尿病
	非常勤医	藤松 雅彦							■				消化器内科 ■：予約患者のみ診察を行います
	〃	橋口 慶一					※						消化器内科 ※：各週交代で診察を行います
	〃	田淵 真惟子					※						消化器内科
総合内科	部長	小川 隆一				●			●		■		■：心身医療診察日
腫瘍内科	院長	井口 東郎						●					膵がん・胆道がん ■：再診予約のみ診察を行います
	医員	二尾 健太	●				●		■		●		1. 消化器がん(食道がん・胃がん・大腸がん・膵がん・胆道がん・肝細胞がんなど) 2. 乳がん、3. 原発不明癌、4. 肉腫(GIST・軟部肉腫)・その他
	〃	篠原 雄大	■		●				●				
外科	副院長	井原 司						●		●			消化器外科・肝胆膵外科・内視鏡下外科・一般外科
	乳腺外科部長	原田 洋						●					消化器外科・乳腺外科・一般外科
	消化器外科部長	富崎 真一	●		●		●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	肝胆膵外科部長	丸山 祐一郎	●						●		●		消化器外科・肝胆膵外科・一般外科
	医長	嬉野 浩樹			●						●		消化器外科・肝胆膵外科・一般外科
	医員	福田 純也					●		●				一般外科
	非常勤医	川畑 方博						●					肝胆膵外科・消化器外科・一般外科
	乳腺外来			●		●		●				●	
副院長	岡 尚記								※				小児アレルギー疾患、気管支喘息、小児一般
部長	上玉利 彰	●		●				●					小児血液、小児がん、小児一般
アレルギー科長	合田 裕治	●		●				●		●			小児アレルギー疾患、食物アレルギー、小児一般、気管支喘息
医長	村田 憲治	●						●		※	●		小児感染症、小児一般
アレルギー科副	濱崎 雄平								■	■			小児アレルギー疾患(■：第3週のみ診察を行います)
※：第1・5週(村田)第2・4週(岡)が診察を行います													
	乳児健診					●							火曜 午後1時から診察開始 午後2時までに受付を行って下さい
	慢性外来							●					水曜 午後2時から診察開始
	喘息外来									●			木曜 午後2時から診察開始
脳神経外科	部長	山川 勇造			■				■	●	■	■	脳神経外科一般
	医長	尾藤 昭次	●		●			●			●		■：午後1時30分から診察開始 午後4時までに受付を行って下さい
	非常勤医	竹本 光一郎			◆								◆：午前10時から診察開始
整形外科	顧問	萩原 博嗣	●										膝・股関節疾患、人工関節置換術、骨折、スポーツ障害、小児整形外科
	部長	水城 安尋			●			●			●		上肢の外科(肩肘手)、足部外科、スポーツ障害
	医長	内村 大輝			●				●		●		上肢の外科(肩肘手)、スポーツ障害
	〃	鳥山 和之	●						●		●		股関節外科、リウマチ
	〃	上田 幸輝	●		●			●					膝・肩関節疾患、腫瘍
	医員	伊東 孝浩	●					●		●			膝・股関節疾患
	〃	江崎 克樹							●		●		整形外科一般
〃	山田 恵理奈			●							●	整形外科一般	
泌尿器科	部長	中村 貴生			●			●		●			泌尿器疾患
	医員	安田 拓司	■		●				●		●		■：第2・4週のみ診察を行います
	〃	近藤 翼	●					●			●		
産婦人科	部長	鶴地 伸宏	●			■			●				産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	〃	木下 秀一郎			●			●		■	●		腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	医員	二尾 愛											●：婦人科診療日 ■：産科診療日
	〃	井町 佑三	●		●			■				●	
	〃	田中 大智	●					●		●		■	
眼科	部長	原 潤	●		●	※		●	※	●	●	※	白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、翼状片手術、レーザー光凝固術
	※：火・水・金曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)												
耳鼻咽喉科	部長	大橋 充	●		●			●		●			頭頸部腫瘍、耳鼻咽喉科一般
	医員	樋口 良太	●		●			●		●			
放射線科	部長	野々下 政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。										MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査
	医長	梶原 寿浩											
	医員	近末 智雅											
麻酔科	診療部長	深野 拓			●			●		●			月～金午前：ペイン・緩和ケア・術前外来
	医長	松永 祥志	●		●			●		●			月～金午後：手術麻酔
	〃	木本 文子	●		●			●		●			
非常勤医	別府 幸岐	●		●									
ペナルクリニック	部長	境 徹也	●		●			●		●			月～金午後は手術麻酔 受診等のお問合せは、直接外来までお電話下さい。
病理診断科	顧問	井関 充及											細胞診断・病理組織診断全般
歯科口腔外科	部長	窪田 泰孝	●	※	●	※	●		●	※	●	※	歯科口腔外科、インプラント、顎顔面外傷、口腔腫瘍、顎関節症
	医員	木附 智子	●	※	●	※	●		●	※	●	※	歯菌感染症など(※：予約患者のみ診察を行います)
	〃	濱田 雄太	●	※	●	※	●		●	※	●	※	
健診センター	健診センター長	佐藤 浩信											※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。健診センター直通電話 0956-22-6155
	医長	原 敬一											